

# 人形

十年ぶりに会う母が

どこか不安げに僕を見る

僕は面影を探してしまふ

記憶の中の面影を

つかめそうでつかめない

記憶のかけらを探してる

僕だつて

母に抱かれていたはずなのに

時間が意地悪く盗んでいくもの

記憶が二度と戻らなくても

うつむいた顔を上げれば

僕にはわかる

このまなざしが

この声が

この思いやりが母親なのだ

僕があげた人形を

母は今でも持つていてくれた

時間を越えるやさしさもある